

平成18年度第1回神岡地域協議会会議録

平成18年6月15日(木)午後1時30分  
於 神岡庁舎 大会議室

出席委員

石山美恵子	工藤正悦	今裕子	今野美幸
小林厚子	斉藤兼光	斉藤博伸	佐藤康晴
鈴木和栄	鈴木百合子	小林重幸	細谷洋造
宮原和恵	武藤良仁		

欠席委員

小田原博	進藤純雄	竹原健子
------	------	------

当局出席者

支所長	鈴木三郎	地域振興課長	佐藤良幸
地域政策考査員	高橋豊幸	地域振興課副主幹	高橋勇
地域振興課副主幹	高橋誠	地域振興課主査	進藤稔剛

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付(小林重幸氏)
- 3 会長あいさつ
- 4 支所長あいさつ

・職員紹介

5 議題

議長

議題に入る前に議事録署名委員を指名します。12番鈴木百合子委員と14番小林重幸委員の2人をお願いします。

それでは議題に入ります。(1)地域枠予算事業について説明をお願いします。

地域政策考査員

《概要説明》

議長

説明が終わりましたが、私から2つ程質問させていただきます。各団体から直接要望のあるものはありますか。それからもう一つは、仮に予算が余った場合は来年度削られるということはあるですか。

支所長

自治会連合会で毎年1回対話集会をやっていますが、何十という項目が出てまして、それは各町内会ごとの要望を取りまとめて対話集会に持って来るとい形にしていますが、その中からこれに該当するものがあるのではないかと感じています。また、個人的に役所に持ってくるのもいっぱいありますが、それは対応できるものと対応できないものがありますが、団体・組織からの要望というものは検討していかなければならないだろうと思います。市の予算で対応できない場合は、地域枠予算の方が使いやすくないかと考えております。

それから予算の関係ですが、市長は3年間は続けたいと言っていますが、やってみていいものは続けたいと思いますが、途中で修正や変更もあるでしょうし、形を変える場合もあるでしょうが、スタートの年ですから今年1年間は様子見てということでしょう。額についても500万円がいいのか疑問ですが、人口割りでないので神岡地域にとってはいいのではないかと、大曲は1,000万円です。いずれ各団体の要望を十分に精査することと、3年間は続けるということでご理解願いたいと思います。

議長

500万円について、仮に余った時は次の年に持ち越すことはできませんか。

支所長

そうはならないと思います

議長

もし使い切れなかった場合は、来年度予算が減らされることはないですか。

支所長

そういうことでなくて、非常にいいアイデアということになると他の地域にも影響あるでしょうし、非常にいいアイデアだけれども金額がどうしても足りないという場合は結果的には増えるかもしれないし、そこら辺が不透明なところで余れば来年使えるというものではないと思います。足りなくなるぐらいにアイデアを出してもらおうということになると思います。

議長

各団体は地域枠予算があるということを知っているはずですね。

支所長

地域枠予算は当初予算で公表していますが、使い道については今こういうような形で具体的に出てきたばかりで、みなさん各団体で地域枠予算に期待しているところもあります。付きにくい予算を地域枠予算でやってもらえないかと言うんですが、そういうのはほとんどハードが多く、何百万から千万円ぐらいの額なんです。とても地域枠予算の考えとも違うし、額的にもとても対応できないわけです。地域枠予算の目指

すところはソフト事業として考えています。いろいろな団体で期待しているでしょうが、全ての団体に応えることは難しいと思っております。何とか神岡地域独自の使い方として例を5から6出したんですが、これは良いということで他の地域に関心を持たれるようなアイデアをみなさんをお願いしたいものです。

議長

委員のみなさんから意見・質問などお願いします。

工藤委員

地域内の任意団体にはどういった形で周知されるものですか。

支所長

私どもが把握していない団体も数あると思いますが、広報で募集して申し込みを受けて、ここで審査するような使い方ではないんです。地域協議会という組織がスタートしたものですから、みなさん方から出していただいたアイデアを大事にしていきたいと思えます。地域全体に広げると範囲が大きすぎるので、地域協議会のみなさんからのアイデアを大事にして、更に自治会連合会のいろいろな要望も選別しながら絞り込んでいきたいということです。

工藤委員

旧大曲市では地域ごとに今のようなものを審査して、OKになれば交付するという事業をやっていたということを知っていた。地域全体を動かすような花館地区の話を知り、具体的な先例があるということを知っていたが、何をどうするかはこの後委員から提案書が出てくると思うが、責任のある予算を持たされるものだなと思う。

支所長

いま工藤委員が心配したとおり、地域全体に申し込んで下さいと言うわけにもいかないんです。限られた予算、限られた使い道で収拾つかなくなるのではないかと思います。いろいろな組織団体あるんですが、合併と同時にスタートした地域協議会ですから、やはりみなさんの意見を大事にして、みなさんもいろいろな要望をこの場でもらえれば形にしていきたいということです。

地域政策考査員

支所長の説明がありましたが、考え方としては地域の課題に取り組むことが大前提になると思います。その中でいろいろな分野、文化も含め体育関係も含めいろいろな自治会の方、ボランティアの方、多岐に分かれた団体の活動があると思うが、その延長線上の中でこの地域枠の事業を実施したいという話であれば、それについての窓口としての受け付けは出来ると思っております。窓口は閉ざさないでそれを受けた上で、それを皆様方にお諮りしながら取捨選択し、当然検討を加えながら地域枠でやるべきものと、これは別だろうという仕分けは必要になってくるだろうと思っております。ですから、広く地域内に呼び掛けもしませんが、自分たちの団体の活動に於いていろいろな町おこしの部分もあるだろうし、そういう理屈付けがきちっと整えば事業はやっていけるのものと期待しております。

今野委員

新しい事業の話ばかりなんですが、今まで例えば学校ですとか、必要な本当に有り難かった補助が、町の方から今年から全て打ち切られてしまって、1円も今年から無

なくなったというような補助もあるんですけど、そういうのを埋めるという考え方はできないんでしょうか。新しい事業だけでなく、本当に必要だったのにお金も出ない、そしてバスも出さない。私今子供が3年生にいますけど、親の負担ばかり増えて、そういうのばかり見えて、有り難い部分は合併して全然見えてこないわけですよ。市の方から挙げてもらえば沢山あるんでしょうけども、具体的に身近にそういうのが見えてこないものですから、どうしたものかと考えているんですが、そういうのはどうなんでしょうか。

支所長

旧神岡町時代に、独自の考えで予算化して継続してきた事業はある訳ですが、今回八つの市町村が合併したものですから、理屈は後にしてみな同じ平均化されたということで、無くなったものとか減額されたものとか、新しくできたものもあると思いますが、今野委員が言ってるのは無くなったとか少なくなったと、それをこちらでということですが、市の予算の穴埋めという考え方には立っていないんです、地域枠予算というのは。それで視点を変えて名称を変えとか、目的を変えてこういう形で継続できないかというような、具体的に言うと、通学費の補助金とかになると思うんですが、またそれを通学費の補助金として、こちらに載せるわけにはいかないんです。予算が減った分を、全部みなそれで出来るのかということになるので、統一性もとれないということもあるので、子供の安全を守る為の対策として何が必要かと、こちらには防犯ブザーというのも載っているんですが、視点を変えて、別の形を変えてと言いますか、そういう形ではやることは出来ると思うんです。みなさんから議論していただいて、今まであった予算が減額されたからその分の穴埋めということは、地域枠予算には適さないという考え方に立っています。

議長

今野委員いいですか、具体的に何かもう一つ出せば。

今野委員

例えば具体的に申し上げますと、中学校のことなんですけど、16年度までは町の方から43万5千円の各部活動の派遣費としていただいてそれで運営していましたが、昨年になり半額になり、今年度からはいきなり補助が無いということになって、それまで恵まれ過ぎていたのかなとも思いますけども、更にバスも無くなったり一切無くなってしまふ。中学校の方としては何としたりいいかということになって、各自治会のみなさんから協力していただいて、後援会を立ち上げていただいて、寄付金を募ってやっていくしかないというところまで来たんですけども、本当にいいことが一つも見えてこない、この間この地域枠ということを知って、子どもたちに予算が付いて、人材育成という面から子どもたちにそういう予算が付いているのなら、全額補助とまではいなくても付けていただけないものかと考えたんです。新規のすごくきれいな事業だけ並べてるようなんですけども、何としたりいいか、中学校の方でも全部自分らで負担しなきゃならないのか、これからということでも今大変な時なんですね。こういう予算が付いているんですしたら、何とか考えていただけないものかとずっと考えていたんですけど。

議長

これは部活の補助と言えはだめでしょうが、例えば子どもいきいき事業に名前を変えれば可能なことでしょう。

支所長

今の人材育成事業だとか、子どもいきいき事業というような名称で、内容はある一定地域の個人に片寄ってはうまくないが、神岡地域全般に通じるような何か理由付けしていただいて、そっくり穴埋めとまではいかないでしょうが、そのあたりは皆さんからアイデアを出していただきたいなと思っています。

斉藤（兼）委員

今の今野委員の話、具体的に検討していただきたいと思います。全体的な500万円という枠がありますので、正直言って大変だと思うんです。予算化するにしても、各種団体に任意団体といろいろあるし、意見聞くのも大変だと思うんですが、最低でも資料4の中にある中身について検討していただきたい。例えば防犯用のグッズ、それから緊急対策事業、これなんかもいつどんな場合出てくるかも分からないので、これはこれで確保していただきたいと思います。

あと、農産物の地産地消の関係ですが、たまたま去年、嶽友大学ってあるんですが、この発表する場が以前であれば産業祭という名前で、商工会なり農協関係なりが、かなり力を入れて賑やかに一大イベントということでやってきた経緯があったんですが、昨年の場合たまたま合併後予算が無いということで、全く会員だけの展示会に終わっています。天気が悪かったせいもあったんですけども、以前のような商工会なり行政なり農協なりの協力があれば、もっともっとやりがいも出てくるだろうし、ある程度地産地消にも繋がるだろうと思いますので、ぜひこれは取り上げてほしいと思います。

細かい中身なんですけど、任意団体が基本になっているようですが、昨日嶽雄館でおもしろ講座がありまして、講師が中町の小林富美雄さん、この方は非常にユニークな方で皆さん分かっているとおり、ペットボトルにメダカ等を入れまして、今盛んに頑張っているんですけど、この方個人でやっておるんですが、将来的には神岡町をメダカの里にしたいというような考えを持っておるようですし、ここにおられる鈴木支所長さんも自然環境、野鳥の環境ということで、そちらもかなり頑張っている方ですし、ある程度団体でなくてもそこら辺も検討してみてもいいかなと思います。

それから資料4の2枚目のボランティアの関係なんですけど、荒屋に奉仕会という25～26人の団体ですが、先日嶽の湯前から愛幸園の前までの植木の下の雑草取りをやりました。ここ4～5年やっているんですが、全くこれは任意でやってるわけで、できればこれも、ここの所のまちづくり交付金の関係で、公園、これから出てくるドームの関係、そこら付近の新しい住宅道路、ますます草取りその他美化清掃の関係が出てくると思うので、荒屋の団体としてやっておるんですが、育成の面でもやっていただきたいなと思います。最低でも防犯グッズの関係と、今野委員が話した中身については是非検討していただきたいと思います。

支所長

今斉藤委員から、荒屋町内の奉仕会という団体があると初めて聞きまして、大変参考になりました。こういう団体は、側面からサポートしていきましようという基本的

な考えで、こういう地域枠予算を活用したらどうかということでもあります。何々団体で何人以上の基準に達すれば全てこれに該当するということでなくて、励みになってますます頑張ってもらおうという側面からサポートするための支援事業だと、それを地域枠予算で活用したらという考え方に立って、すぐ該当なるかならないかは別にして、そういう考え方があります。

議長

その他にいろいろご質問ありましたらお願いします。

小林委員

自治会からのお願いですが、この前の5月の古紙回収の件ですけども、今5番さんから提案あったとおり、前のものを無くして新しいものばかりやっていると、それに助成を出すということになる。この前の案内書見れば古紙回収も年1回に、5円のを4円にするとか、段々に無くするとかいう案内に伺えたんですよ。それでそういうことなくして、年2回は何としてもやっていたきたいということなんですね。それで今担当の方いるかいらないか分からないけれども、今現在古紙回収に5円というものは行政でまるっきり負担しているのか、業者との半分とか行政が半分とか、そういう割合でやっているのかお聞きしたい。

支所長

今の件確認しますので、その他の件ありましたら。

小林委員

まずこれを無くさないで欲しいということなんです。連合会の役員会でも、何としても2回は最低でもやっていたきたいということなんです。今まで自治会でも行政に負担かけているわけでもないし、補助金だけは負担かけているかもしれないが、我々精一杯頑張ってみんな集めて分別して、持って行くばかりにして対応しているわけです。それを2回のを1回にするとか、そのお金が各自治会の予算の中に入れて使っているわけで、今現在各自治会にも行政から助成金が段々に無くなると、それは連合会にも無くなってくるということになってくれば、何としてもそういうものの収入しかなくなってくる訳ですよ。ぜひそのあたりをよく検討して1回でなく最低2回はやっていたきたいと思います。

議長

まだ回答が来る前でありますので、どうぞ。

細谷委員

先程の斉藤さん今野さんのお話に関連なっていくんですけども、この前運営委員の方々でお話をし合った内容を報告した方がいいかなと思います。今まで竹原さんの方から子どもの安全という関係から、今まで例えば冬の待避所みたいな所、柵の部分が今まではやられていたけど、この冬からなかったというようなことも挙げられまして、そういう意味では、子どもの安全という考え方に立って今までやってきた部分だけは、やって欲しいというようなことをお話になっておりました。それに関連して、今世相が非常に子どもの安全に対して臆病になってきている、そういう感じを受けるんですね。そういう意味でいくと逆に地域にみんなでもらう、この夏休み7月8月このあたりに期間限定で、もし子どもを巻き込んだ町内の活動、こういったものに対して

補助を思い切って出していく、そういうむしろ引っ込んでなくて、むしろ交流させていくというやり方を、今の世相に合わせた形で打ち出してみたらどうなのかなというように感じを受けてます。この前そういうこともちょっと話をしたんですけども、やはり夏休みの部分を契機に、各町内おそらく納涼かなんかで子どもと一緒にやる行事企画されている方もいると思うんですけども、そういった方向に予算を使えるような形を作って、その中で先程今野さんおっしゃった部分とか、あるいはグッツですか、そういった部分も一緒に予算化していくといったような、そういうやり方はどうなのかなと思いました。

次の産業振興班の中でお話しようかなと思っていたんですけど、先程小林さんの方から出たんで、いろいろ支所長も野鳥の関係ではホームページ持ってるくらいですから、言うまでもない訳なんですけれども、神岡にはやっぱり優れた人たちがいっぱいいらっしゃるんですね。そういったものとかあるいは商品、こういった物もあるわけですし、そういった物全部集めてみて、大仙市のホームページに載せてそれを販売し、もしできたら再生産できるような方向性持てないかなと言う意見この前出ましたんで、そういった部分とか、もし商品の発送とか必要になってきた場合は、シルバーにお願いするとかそういう方々に還元していくとか、そういうやり方はせっかく使う予算であれば、逆に今度再生産できるくらいの方向性は打ち出せないものかと話し合ったところです。今こう見てくると、最低限の今までのやられた部分での子どもの安全という意味の部分、ここのところは役所の方々よくご存じだと思うんでぜひ考えていただきたいなと思います。

議長

先程の小林さんの件でお願いします。

高橋（誠）副主幹

古紙回収の件ですが、18年度は年2回予定しているそうです。そしてキ口あたり5円ということでした。またこれは全額市の方で出している補助金だそうでございます。

議長

先程の細谷さんからの意見の関連事項ですが、神岡町の時にインターネットで我町を役場で管理してしていたホームページかな、今は全部無くなってみんな市に一つ、そういうことですね。

支所長

神岡町のホームページは原則閉鎖されています。大仙市のホームページに切り替わったことなんですけど、中川原公園の防災実況放送は見られます。堤防の所に管理棟建ってますね、あそこにテレビカメラついているんですよ。神岡町のホームページも開くこと出来るんですけど、防災情報ということでリアルタイムで今現在の神宮寺嶽、沼、岳見橋、下のグラウンドゴルフ場等あそこら付近実況放送で、全国どこからでも見れます。洪水とか災害対策のためのテレビカメラなんです。原則神岡町のホームページは残っているのはそれだけです。ほとんど書き換えてないんで、古い情報がそのまましか入ってないんです。合併前から比べると、非常に物足りないというふうに皆さん感じるとお思いますので、大仙市のホームページに繋いだ時に、神岡地域がどうなって

いるかということがすぐ見れるように、もっともっと内容が充実しなければならないと私も常々感じております。たぶん本庁の方で全てを書き換えるとすればなかなか難しいし、そこら付近これから職員がやはり勉強して頑張っていかなければならないだろうと、旧市町村単位ですぐに自分のふるさとがこういうふうになっていると、例えば今神岡地域では多目的ドームがここまで出来ていると、工事途中の写真を載せるとか、名称を今こういうふうを考えているとか、というのを少なくとも一週間以内に載せれば、常に新しいホームページになると思います。ホームページというのは、見る人は新聞と同じような感覚で、今どうなっているかというふうにして見るんですよ。1年も前の情報なんか見たくない訳ですよ。1カ月になればもう古いと、最低1週間以内のものがほしい訳なんです。そういうホームページでないと誰もアクセスして来ないし、2回3回やっても同じ内容だと誰も見なくなります。頻繁に書き換えるように本庁の方に提案して下さい。

議長

色々課題の多い件ですけども、後程の分科会にも多分出るかと思えます。その他にありませんか。

斉藤（博）委員

今大仙市のホームページのことで話ありましたけれども、今年度無くなった事業とかもまだそのまま載ってるんですよ。新たな事業始まった、そういう関係のやつ全然まだで合併で当初作っただけで、そのまま変えてないで載ってるような事業がありますので、そこら辺をぜひ本庁の方へ。

支所長

私もいつもそう感じているんですよ。こういうことは協議会の意見としてちゃんと伝えます。早めにすぐ対応できるように、情報システム課にはベテラン職員いますのでやる気になれば出来るんですよ。

議長

武藤さんもホームページ開いているよね。

武藤委員

今ホームページの話出たんですけども、大仙市の広報と一緒に神岡の広報も入ってくるんですが、僕の住んでる内大坪という新しい場所なんですけれども、これは町内会の問題かなとも思うんですが、広報がいろいろな申し込みが過ぎたあとに届いたりするんですよ。そういうのは他は大丈夫だとは思いますが、できたら広報と同時にせめて月1回位の更新とかが内容はだぶってもいいと思うんで、せめて月1回発行日に合わせて更新していくような形をとっていただけたら、とても助かるんですけど。

議長

こういうのは地域枠予算関係で出来るもんですか。例えばホームページでも広報地域版をもっと回数多くするとか。

支所長

いえ、これは市でやるべきです。

武藤委員

こういう時代ですので、ホームページでさっき支所長の方からあった町の様子とか、



広報の状態とかをどんどん流してもらえれば、町から離れている人も常に神岡のことを知れるのでとても良いなと思って、僕もそうして欲しいなと思いました。

議長

その他には、佐藤委員何か農業関係とかありませんか。

佐藤委員

農業関係ではないですが、緊急処理事案対応措置事業の道路水路等々緊急を要する事案の要望を処理するとありますが、これは地域枠予算外の市の予算で出来ることなんじゃないでしょうか。地域枠じゃないと出来ないようなことなんじゃないでしょうか

地域政策考査員

市の一般会計予算で対応するのは、当初から要望ありました中から大きい工事費の高むもの、そういったものについては予算措置されています。ただ、我々がここで生活している上で必要だと思われる場所、そういった所のわずかな修繕みたいなものは、一般会計の予算の中では、その分の予算としては少ない訳なんです。例えば道路の穴埋め工事は、工事として全体の中でどれだけやれるかというのも限界がありまして、目一杯使っても当然行き届かない部分が残ってくる訳です。やっぱり暮らしているうちにまたどこかで穴があいたり、色々な問題が起きてくる訳ですけども、そういったものに対する対応のための事業というものは必要だということで、従来からこういう声がありまして、地域に使える予算を配分しようというのが、それも一つの背景になって地域枠予算事業というものが出来てる訳です。ですから、この中でいくらか対応できるようにしなければ、地域からの不満を消すことが出来ないだろうという考え方に立っています。

佐藤委員

そうすれば、ちなみに毎年こういう細かいのはどれくらい掛かっているもんですか。

地域振興課長

道路の穴埋めは、年3回か4回に分けて年間400万円～500万円の予算です。今説明あったように、予算が限られて秋口になると予算が無くなると、本来は佐藤委員さっき言ったように、道路の維持というのは一般会計の予算でやるべきなんです。ただ、なかなか予算が厳しいということで、予算が少なくなった段階で傷んできた所を放置しておく、バイクが転倒したりタイヤが穴に入りアルミホイールが割れたりとなると、道路管理者に責任来ますから、早急に応急的に補修しなければならない。そういうものは地域枠予算で見れるよ、という本庁の方の考え方が来てますので、この地域でも考えておいた方が良いのかなということです。額的には50万円とか100万円とかでなくて、簡易的な材料を使って応急的な補修なので、そういうような経費を捻出できるのかなということです。

支所長

非常に苦しい答弁になっているんですが、本来は当然市の予算で一般会計でやるべき内容です。このとおり合併しても非常に予算厳しくて、前年度付いた予算の95%とか90%で我慢せいと、次の年になればまた更にその90%だということで、年々道路目的の予算が厳しくなっているんです。そうすれば、今までここまでやれたものがこれしかできなくなり、残った所をどうするかと、それが緊急にやらなければ

地元住民に迷惑が掛かるというような時に、最後にこれを使ったらどうかという考え  
方です。

議長

地域枠予算について皆さんから意見を伺い、また説明を受けた訳ですが、この場で  
緊急に決めて欲しいということはないですね。

支所長

ここに一つの例を出したんですが、こちらの考え方も地域枠予算の使い方も大体ご  
理解いただいたと思うんですが、斉藤委員からもご提案あったんですが、これとこれ  
とこれは早くやったほうが良いだろうという、皆さんからのご意見であれば私たちも  
それに合わせてやりたいと思います。

議長

協議会とすれば、それに関わることはその程度だと思います。

地域振興課長

資料4の方に先程から話し出てる児童の安全、防犯用グッズ、防犯ブザーですか、  
これについてはやるとすれば、早めにやった方が良いのかなと思う。金額については  
1個千円前後で260名分で26万円位の経費です。

議長

これは要望ありましたか。PTAとか父兄の団体とかの。

地域振興課長

要望はないんですけども、さっき説明したように昨年の地域協議会のまとめの中で、  
子どもの安全安心ということでスクールバスの運行を要望された訳ですけども、これ  
には少し時間をかけて検討させて欲しいという市長の回答もあった訳ですが、藤里の  
事件以来、子どもの安全について非常にみなさん心配している訳で、去年の提案と連  
動させた考え方でこちらからの提案でございます。

議長

小林委員からどうぞ。

小林(厚)委員

昨日、北神小学校に民生委員として訪れたんですけど、学校の方の備品の経費がず  
っと削減されてきてるってことで、実は民生委員としても何か子どもたちのためにと  
いうことで、神宮寺小の方に伺ったら腕章をPTAの方で作っているらしくて、腕章  
をお願いして、出れる時に出て欲しいということだったんです。北神小にも腕章があ  
るかどうかということで昨日伺ったら、学校の方の経費では出せなくてという話で、  
今の防犯用グッズの子どもたちに持たせるのもそうですが、希望としては町民の方が  
常に子どもたちを見てる感じに、市の方で腕章を作っていて散歩に出て行かれ  
る方とか、やりたいという人を広報で募っていただいて市の方で管理するというか、  
アピールする体制でやってもらえれば。今車で回っていただいていますけど、この前の  
民生委員の総会で今月いっぱい終わるような話が課長さんの方からあったので、な  
おさら不安なので朝はいいが帰りの時間帯はやっぱり続けて欲しいのが希望です。

支所長

今いわゆる「見守り隊」は北檜岡の任意団体で頑張っています。この様な団体に対

しては、帽子とか腕章なんかはこちらの方で措置したら効果的ではないかと考えています。神岡地域の小中学校3校全てに、見守り隊で予算がない場合は援助すべきでないかということは当然考えられます。それから小林さんの言った、市の車で朝夕毎日2回職員が交代で2台で回っているんですが、予定では今月いっぱいということになっているんですが、続けるかやめるかということはまだ正式に決まっていらないんですが、6月いっぱい終わるとした場合非常に不安だという意見でしたが、神岡支所だけでも午後もう一月くらいやるのができないか職員で検討してみます

工藤委員

北檜岡地区の話して非常に恐縮なんですけど、北神小学校の児童の見守りということ朝の通学時間8時半頃まで、帰りは3時半から4時半まで朝夕1時間ずつの見守りを交代でやっているのが、「みどりの会」という任意団体で作ったボランティアが2年継続してきました。もちろん任意団体なので予算もなかったが、今年の市の補助助成の中に、教育委員会の管轄の中でキッズボランティア補助金という制度があるので、早速応募してみたら上限が20万円の補助を受けて、それでジャケットと帽子、背中に北神っ子安全、みどりの会と表示したものを準備するというので、今注文しています。また、北檜岡地域の町内自治会の中で防災自治組織との関わりで、今度学童の安全部門もやったらどうだということで、各町内12区で回り番で腕章付けて、朝と夕全く任意に見回りを実施しています。つまり登下校時の見守りということです。これは義務づけてしまうと負担になっては困るので、出来る範囲でということで実行しています。役所の方で決めたからというよりも、地域で出てくる方が継続していきやすいとつくづく思います。やはり、何とかしてみんなでやっていこうという機運を作ることが大事じゃないかと思います。

議長

地域枠予算事業提案書ですが、これは大体いつ頃までですか。

地域政策考査員

次回の協議会開催日頃まではまとめてもらいたいが、次回の協議会に皆さんから提案されたものをお示しするとすれば、その前に整理しなければならないので、開催日が決まればおのずと提出期限が逆算されると思います。いずれ18年度分の最終的な500万円全体のまとめというのは遅くとも今年いっぱい、出来れば9月か10月頃までにはある程度大まかな部分はまとめたいと思ってます。そうしないと時間的に本庁との協議等の時間もあり事業実施が難しくなるので、やるとすれば出来るだけ早く住民の方々に還元できるように行った方が良く考えています。

議長

ここで地域枠予算の方は閉めてもよろしいでしょうか。次に屋内多目的施設の愛称選定についてですが、10分間程休憩します。

議長

(2) 屋内多目的施設の愛称選定について、事務局からどうぞ。

地域政策考査員

皆様方からご回答いただいた愛称、このようにまとまっています。この中から2点

を協議会として選んでいただきまして、市長の方へこの協議会の意見としてご提案したいと考えています。よろしくお願いします。

支所長

皆さんから絞っていただいたのが応募件数の多い順に並べています。これを出来れば2点に絞って、市長にどうでしょうかということで最終決定したいと思います。応募数はこのとおりかなりの件数になっています。後はひらがなにした方が良いとかある程度修正も出来ると思います。カタカナにした方が良いとか、当用漢字にした方が良いとか、アルファベット付けた方が良いとか、というふうにいるいろいろな表現があるかと思いますが、どうか皆さんから意見出していただいて、最終的に2つに絞っていただきたいと思います。議長よろしくお願いします。

議長

この投票の結果で決まる訳じゃないんですか。

支所長

つまりこれは多数決ではないということです。

議長

各委員から2つずつ選んでもらった結果がこのようになっております。いずれも神岡とか嶽とかそういう地名、あるいは我々が親しんできたような名称が入っているのがほとんどのようです。

支所長

これは大仙市の施設ですので神岡の地名がはたしてどうか、最終的には市長が判断することだと思うんですが、私たちは神岡の地名を入れたいというのは当然あると思います。あとは神宮寺嶽の嶽ですが、嶽雄館とか温泉の名前も全て嶽を付けておりますので、こちら付近にこだわるのだろうかと思っていました。さっき言ったとおり漢字も含めて、愛称ですから読みやすい親しみやすいという観点からもご検討願いたいと思います。私、個人的には神宮寺嶽の嶽、この難しい旧字体は読めない人いるんですよ。この一文字だけでは、「ごく」と読んだりすれば非常に困るんですけども。我々は毎日親しんでいるから、すぐ「だけ」と言うがこれも常用漢字では別の字でありますし、ひらがなにするとか採用するとすれば、そこまで含めた意見をお願いしたいということです。

議長

みなさんどうですか。

工藤委員

応募された名称を見せてもらって、よくこのように出てきたと感心します。自分としては、あの一角に嶽雄館とかみおか温泉嶽の湯というような名称であそこを占めているし、神宮寺嶽は大仙市の中の嶽山で許されるんでないかということで、嶽に何とでもこだわってみたところ、神岡という字はあんまり必要ないのでないかということで、嶽ドームの34番を選んでみました。それからもう一つは、だけ丸くんも非常にいいなと思った時に、だけ丸くんというのは漫画化した野球のキャラクターのことで、責められるような気がするので、自分としては嶽ドームということで漢字の難しいところを出してみました。

議長

だけ丸というのは旧神岡のイメージキャラクターですが、何かに使っているものですか。

工藤委員

商工会ではだけ丸のマークは使っています。ぬいぐるみはイベントあれば使っています。

議長

今も使っているんですか。

支所長

野球の開会式にはぬいぐるみを着て行進します。年に数回しか出てくる機会ないけれども。

議長

野球のためのキャラクターではないんですか。

支所長

違います。商工会で考えたアイデアです。

議長

その他にみなさん何かありませんか。

斉藤（兼）委員

だけ丸くんといえば野球のイメージ、そちらの方だけでいいと思いますので、鈴木支所長言ったように、あえて難しい嶽ドームの方が地域的にも「ビダッ」とくるような感じで、嶽山、嶽の湯、嶽雄館、それからこの後出てくる公園も名称出てくるんですか。団地の名前もはたしてどのような団地の名前になるのか。いずれ難しい漢字の嶽ドームに賛成です。

支所長

それを採用するとすれば、ふりがなを必ず付けるということで。

議長

それではみなさんこだわりの何かありますか。若い人で武藤さん。

武藤委員

僕も嶽ドームがいいと思います。出来たらこの前に大仙とか付かないものですかね、大仙嶽ドームとか。ここには無いんですけど、やっぱり神岡のシンボルで大仙のシンボルにもなって欲しいなっていう思いがありますので、大仙嶽ドームとか。

支所長

愛称はドームに大きく書くんですが、二段書きで小さい文字で大仙市立屋内多目的施設、そして愛称 というふうにすれば市の施設だなと分かります。

議長

みなさん何か反論ありませんか。二つということだから、結局点数の多い方から二つ推薦してやりませんか。ということで、地域協議会では上位二つをよろしくお願ひします。次に報告で、(3)平成18年度神岡地域新規事業についてお願ひします。

地域振興課長

《北檜岡公民館建設事業について概要説明》

支所長

《補足説明》

地域振興課長

《追加説明》

議長

婦人研修室というのは、なぜ婦人とつくんですか。

支所長

補助事業でないので、今までの古い名称をそのまま使ったと思います。

工藤委員

多目的WCとは何ですか。

地域振興課長

身障者用の車イスでも入れるトイレで、義務的につけなければならないんですよ公共施設には。

支所長

つまり今のバリアフリーという形で公共施設は段差を無くし、玄関はスロープになっていますので、玄関に入ったら全て段差つけないようにしています。トイレも会議室も。廊下と体育館の出入りもそうです。

## 6 その他

議長

次、その他にいてもいいですか。

地域政策考査員

私の方からその他として、4点程お話申し上げたいと思います。平成18年度の地域協議会の活動につきまして、もっと住民の声を市政に反映させるために、新たな取り組みをしたいという考え方に立っております。当然地域協議会の委員の皆様方は、各住民の声をある程度吸い上げしながら、こういう場で協議されている訳でございますけども、まだそれも十分でないという他の地域の声もあるようです。ここの神岡地域においては、そんな問題はないと思いますが、市全体としてはそういうこともあるようでございます。そのためには対話の場と、住民と話し合う機会というものを多く持たなければできないという流れもありまして、たまたまここの地域においては、自治会の活動あるいは自治会連合会の活動というものが、ものすごい中心になって頑張っておられる訳ですけども、その自治会の活動、自治会連合会の活動というものを主として、今考えている新たな住民の声を吸い上げる場に位置づけたいと考えています。ですから今までと何ら変わりはない訳ですけども、自治会連合会でまとめたいろいろな要望を、この場にもみなさん方とご相談しながら、必要なものはどんどん問題を解決・解消していきたいと考えていますので、一つよろしくご理解をお願いします。

それから2点目ですけども、今日からこの後班別のミーティングを行うということになっています。今日の会場は準備していますが、今後それぞれ各班で随時協議がなされるということになるかと思っておりますので、その活動の場所として2階の情報活動室、を地域協議会の活動の場所として、確保しておきたいと思っております。ですから、活用

される時は地域振興課へ一声かけていただければ、すぐに使うことができると思いますので、ご活用下さい。

それから、6月25日開催の地域協議会委員の研修、ドンパルで1時から開催するというご案内しておりますけれども、できるだけご都合お繰り合わせいただいで、バスの方を12時10分支所の正面玄関に準備しますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。なお、この研修会には各自治会の会長さん方にも案内がいつています。せつかくの貴重な講演でありますので、講演だけは自治会長さんにも案内いつています。その辺もお含みおきいたきたいと思ひます。

それから、協議会1年間に5回なり6回開催して行かなければできない訳ですけども、できればこの場で次回の開催の仮日程を決めていただければ、みなさんがご都合をつけるにいいんじゃないのかと思ひております。特別な行事が入ってこない限り、その日程で進むということゝ組んだらどうなのかなと思ひてます。そうしないと当日近くなつて、いろいろな委員の方々と連絡調整しなければできないという問題もありまして、できればここである程度の日程を定めていきたいということであります。今事務局サイドで考へているのは、7月の20日か21日の辺りはどんなものなのかなと、一月くらい後にもう一度お集まりいただくという案は、どうなのかなということであります。ただ、各班の活動計画、そういう部分のところを私どもまだ聞いておりませんので、時間的にいいのか悪いのかも含めて、ご検討いただきたいということでございます。なお、次回の協議会については、このとおり今回4月に職員もかなり異動しており、幹部の方々も異動してます、支所長のあいさつにもありましたが、継続事業関係のまちづくり事業、あるいは圃場整備事業といった大きい主要事業が継続で行われておりますし、そちらの進捗状況も併せながら、バスで現地調査しながらその後各課長からの補足説明も考へております。バスの予約等もありますので、できれば仮日程を詰めていただければ有り難いと思ひています。

議長

情報活動室の使用、夜は無理でしょうか。

地域政策考査員

使用できます。

議長

職員が付くのですか。

支所長

福祉センターの管理人がいます。

地域政策考査員

福祉センターと一緒に管理することができます。

議長

申し込みはどうすればいいですか。

地域政策考査員

うちの方へ連絡いただければいいです。

支所長

情報センターは夜も9時まで開放できます。福祉センターの管理人が夜の管理に当

たることになっていきますので、事前に予約していただければ大丈夫です。

議長

その他何かありませんか。

地域政策考査員

日程の方を詰めていただければ有り難いですが。

支所長

特別に都合悪い方おれば動かしますけれど。総合的な判断で21日の金曜日はどうでしょうか。

議長

そうすれば、21日みなさんどうでしょうか。それでは21日にお願いします。時間は午後2時からとします。

私の方から一つお話いたしますが、今野さんから話のあった部活の後援会について、まずは中学校のPTAで声を上げるべきだということで、中学校のPTAの総会の時に、ぜひ後援会を立ち上げて欲しいということになりました。母体をどうするかということで、本当はもっと早くやれば良かったんだけど。平和中学校の同窓会の事務局の方に相談したところ、これは同窓会にも相談してみたらどうかということになっております。事務局の方はこの中にいますが、その後どうなっているか聞いてみたいので、答えることができたならお願いします。

地域政策考査員

平和中学校同窓会の幹事をやっておりますけれども、同窓生は大体6,300人あります。そういう方々から募金をお願いして記念行事をやったりしています。当然ながら募金された全てのお金を100%使いこなした訳ではございません。その中で一部残している部分もありまして、それは次回の記念行事の際の郵送経費とか、いろいろな形で使うということで若干残されているようです。それをずっと持つてる訳なんですけど、5年の周期になるのか10年の周期になるのか分かりませんが、それまで黙って眠らせなければならぬというのが実態です。ちょうど会長からその話を受けまして、当然市としてもそういう中学校の後援会の立ち上げというのは希望するところだというふうには感じてます。実は早めに開催したかったんですけど、今日の夜に同窓会の役員会があります。今日全員集まっていたらどういふ答えが出るのかは分かりませんが、いずれ会長なりPTAが一生懸命考えてるその部分については、役員の方々にお話しして方向付けをしたいと思っております。

議長

それではここで今日の協議会を閉めたいと思います。長時間に亘ってありがとうございました。

7 閉会(15時40分)